

脈々 スピリッツ 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「心中の賊」

種をまき、苗を植えても、少し手入れを怠れば、美田もたちまち雑草に被われる。磨き込んだ鏡も、ふと見れば塵や埃が積もり、いつのまにか曇りが生ずる。

やろうと思うのにやれない、やっても続けられないのは他人の所為ではない。自分の歩みを妨げる最強の敵は、他でもない自分自身の中にある。

其の障害中の最大にして、護謨園にして災わざわいする最も甚だしきは、瘴烟しょうえんにあらず、蝨雨にあらず、又猛獸毒蛇あくがく悪鱷あくがくにもあらずして、実にラランと称する雑草なり。(「藪椿」10-13)